

# 心のつながりシート



## 南房総市立富山小と北区立王子第五小 オンラインによる交流継続



7月には、富山小学校から、マスクとかるたが、温かいメッセージとともに届けられました。

11月7日付の房日新聞にて、交流の様子が紹介されました。



記事の掲載については、房日新聞社の許諾を得ています。

6年生は、昨年度の岩井自然体験教室以降、千葉県南房総市の富山小学校と交流を続けています。今年の7月には、感染症拡大のため、マスクが不足しているのではないかと心配した富山小学校の児童会が中心となり、地域ぐるみで資源回収を行い、その収益でマスク1000枚を寄贈してくださいました。本校の児童、教職員及び保護者は、「富山小は王子五小のために、王子五小は富山小のために一緒に頑張りましょう。」というメッセージに心を熱くし、6年生はお礼のお手紙を送りました。10月には、オンライン会議ツールを活用して交流を図りました。「こんにちは。覚えていますか。」という自己紹介から始まり、事前にまとめたお互いの地域の魅力を、発表し合いました。児童は、「一緒に授業を通して学び合いたい。」「離れていても同じ6年生。同じように学んでいることに気付いた。」「南総里見八犬伝のことをもっと聞きたかった。」「南総里見八犬伝の滝沢馬琴と関わりのある北区を案内したい。」「今日話せなかった他の友達とも話したい。」「富山の地域の皆さんとも話してみたい。」「また海岸清掃をしてみたい。」「富山小の木材が中心の素敵な教室が見えたので、実際に行ってみたくなった。」と、今後の交流にも期待を寄せていました。